

AJA ソフトウェアインストーラー

リリースノート - macOS v13.0

重要な記載事項 - 必ずお読みください

対応 OS

このドライババージョンは、OS X 10.9.5 (Mavericks) , 10.10 (Yosemite) , 10.11.x (El Capitan) および macOS 10.12.x (Sierra)と互換性があります。しかし、UHD/4K や 60p といったハイフレームレートを用いるワークフローが必要な場合には、macOS 10.12.x (Sierra) のご利用をお勧めします。

ソフトウェア

このインストーラーは、下記のソフトウェアバージョンと互換性があります。最高のパフォーマンスを求める場合には、最新版のご使用をお勧めします。

Adobe

- ・ Premiere Pro - CC 2015 , 2017
- ・ After Effects - CC 2015 , 2017
- ・ Photoshop - CC 2015 , 2017
- ・ Prelude - CC 2015 , 2017
- ・ Audition - CC 2015 , 2017

Avid

- ・ Media Composer - 8.4, 8.5, 8.6, 8.7, 8.8, 8.9

Apple

- ・ FCP X - 10.2.3 , 10.3 , 10.3.1 , 10.3.2

Telestream

- ・ Wirecast - 6.x, 7.x

その他の互換アプリケーション

- ・ <http://www.aja-jp.com/products/kona#ソフトウェア対応表>
- ・ <http://www.aja-jp.com/products/io#ソフトウェア対応表>

*その他のアプリケーションで使用するために必要な AJA ドライババージョンの詳細については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

v13.0 の新機能

AJA KONA IP、KONA 4 および Io 4K ファームウェア

- ・ HDMI 経由での HLG 再生に対応（対応に関しては、お使いの各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください）

AJA KONA IP ファームウェア

- ・ TR-01 準拠 JPEG2000 ワークフロー向けのファームウェアオプションを追加

AJA Control Room

- ・ アプリケーションプリセットの保存および呼び出しが可能
- ・ Control Room が起動しない場合、Shift キーを押しながら起動すると設定をリセットもしくはソフトウェアのみのモードを使用することが可能
- ・ Scripting を有効にすると "バックグラウンドでデバイスを保持する" 設定が自動的に動作する機能を追加
- ・ 16 ビットオーディオのキャプチャーに対応（再度適用）
- ・ ビデオ再生およびキャプチャー時の両方にタイムコード焼き付け機能を追加
- ・ ビデオ再生およびキャプチャー時の両方にクローズドキャプション焼き付け機能を追加
- ・ デッキプリロール時間を最大30秒に延長
- ・ メディアファイル再生時にオーディオトラックの再ルーティングが可能
- ・ 12 ビット Apple ProRes XQ の再生に対応

AJA Control Panel

- ・ 新しいドロップダウンメニューとプリセット保存機能を含む、4K/UltraHD を HD にダウンコンバートして、SDI 3 へ出力するメニューを追加
- ・ 再生用ファイルからのオーディオ出力ルーティング機能を追加

Apple FCP X

- ・ FCP X での 12 ビット/BT 2020 へ対応
- ・ 12 ビット Apple ProRes XQ の再生に対応

Adobe Premiere Pro

- ・ 12 ビット Apple ProRes XQ の再生に対応

- ・ HDMI 経由での HLG 再生に対応
- ・ Premiere での OS ディスクキャッシングを無効にする機能を追加

Avid Media Composer

- ・ 48p / 47.952p のキャプチャー、再生および出力に対応

修正点

v13.0

- ・ Adobe Premiere Pro CC でのループ再生時にビデオがフリーズしてしまう不具合を修正
- ・ Adobe Premiere Pro CC での RGBA 8 ビットをキャプチャーすると不完全なビデオになってしまう不具合を修正
- ・ Adobe After Effects 向けの AJA プラグインが Adobe Premiere Pro CC がインストールされていない場合でもインストールされるように改善
- ・ Adobe Premiere Pro CC でのキャプチャー画面を開いた状態でメモリー・リークが起こる不具合を修正
- ・ Control Room でキャプチャーされた MXF ファイルが、Avid Media Composer とリンクできない不具合を修正 (File > Import > Link to media)
- ・ AJA Control Room でクリップが重複してしまう不具合を修正 (新しいファイルで上書きしようとする際)
- ・ AJA Control Room GUI の不具合を修正 (入力機器が接続されていない場合に問題があった、キャプチャー/プレイバック画面の問題)
- ・ AJA Control Room での編集のイン点 (In Point) を見失う不具合を修正 ("go to IN" 以降でコマ送りしながら往復している状態)
- ・ AJA Control Room でインポートされたクリップにおいて、Apple ProRes を認識するように修正
- ・ Thunderbolt™ のプラグアンドプレイ性能の向上
- ・ DF RP188 キャプチャー時のタイムコード検知を修正 (ドロップフレームがノンドロップフレームと検知されていました)
- ・ Io 4K および KONA 4 において、SDI 4 出力に水平ノイズが発生する不具合を修正
- ・ UHD テストパターンを修正

- ・ ETT (Edit To Tape) の不具合を修正 (DVCPro HD クリップが読み込まれている場合、ビデオ入力に歪みが発生)
- ・ AMD グラフィックカードとの互換性を向上
- ・ DVCPro HD ルーティングの不具合を修正 (DVCPro HD 再生に問題があります)
- ・ AJA Io 4K での、HDMI 入力時に不完全なビデオが生成される不具合を修正
- ・ AJA KONA LHi でのアナログ入力をリファレンスとして選択している場合に、HDMI 入力がリファレンスソースとして置き換わってしまう不具合を修正
- ・ Level B の処理を改善 (AJA デバイスへの入力時)
- ・ AJA desktop ソフトウェアをアンインストールする際に生じる、AJA desktop ソフトウェアと Blackmagic Design ソフトウェア間の競合を修正

v12.5.1

- ・ KONA LHi でのアナログ入力ビデオソース時のゲンロック選択を修正
- ・ Adobe Premiere 2017 で 12 ビット HDR カラースペース設定が抜けていた問題を修正
- ・ 32 ビット整数オーディオでキャプチャーされた QuickTime ファイルが一部のサードパーティアプリケーションで再生されない問題を修正
- ・ Adobe Premiere での非互換性を防ぐため、MXF から 32 ビットオーディオオプションを削除
- ・ 全ての KONA および Io デバイスでデュアルリンク接続の VPID 問題を修正
- ・ Avid Media Composer の JKL キーボードを素早く操作すると、オーディオをループしてしまう問題を修正
- ・ AJA コントロールパネルのテストパターンドロップダウンの列をクリックすると AJA Control Panel がクラッシュする問題を修正
- ・ T-TAP で 2K 23.98 の再生問題を修正

v12.5

- ・ キャプチャー時の DNxHR パフォーマンスを改善
- ・ Thunderbolt をホットプラグした際の一連動作を改善
- ・ RP188 LTC のみがある場合に RP188 VITC が表示される問題を修正

- ・ SDI 2 のアンシラリー タイムコードが AJA Control Panel に表示されていなかった問題を修正
- ・ lo XT の AJA Control Panel プリセットで Genlock の状態が正しく保存できなかったり、呼び出されなかったりする問題を修正
- ・ lo XT の AJA Control Room で再生ペインを選択したときに、Ref/LTC が Ref に切り替わってしまう問題を修正
- ・ 9ピンをタイムコードソースに設定したタイムコードとビデオ間のキャプチャー固定オフセットの問題を修正
- ・ あるアプリケーションから別のアプリケーションへ切り替えたり、あるプラグインインスタンスから別のプラグインインスタンスに切り替えたりすると、オーディオシステムがクラッシュする問題を修正
- ・ lo 4K を電源を入れたまま引き抜いた時にアプリケーションがハングしてしまう問題を修正
- ・ 多くの不正なVPID (ビデオペロード識別子) 問題を修正
- ・ 4K/UHD の 2SI 入力が KONA 4 と lo 4K で正常にキャプチャーされない問題を修正
- ・ Control Room のキャプチャークリップが常にノンドロップタイムコードになってしまう問題を修正
- ・ スリープ状態から復帰した後に出力が不良になる問題を修正
- ・ AJA Control Panel の全ての“425”文字列を 4K と UHD を伝送する方式 2サンプルインターリーブを示す“2-SI”に変更
- ・ Adobe 再生環境設定を変更した後、Premiere Pro で AJA 出力が出なくなる問題を修正
- ・ Premiere Pro のキャプチャーでステレオオーディオを選択しても、ディスクリートモノラルトラックでファイルが作成される問題を修正
- ・ アプリケーションを終了すると HDMI オーディオ出力が常に8チャンネルにリセットされる問題を修正
- ・ Premiere Pro でタイムラインからタイムライン、またはタイムラインからソースモニタに切り替える際、AJA 出力で古いビデオフレームが点滅する問題を修正
- ・ Wirecast 出力のオーディオスタッターによる問題を修正
- ・ Wirecast で記録されたファイルとライブストリームで作成されたバックグラウンドノイズの問題を修正

v12.4.1

- ・ AJA ドライバーが原因で AJA ハードウェアのシリアルナンバーを正しく読み込めない問題を修正

v12.4.0

- ・ Premiere Pro で Mercury Playback Engine の設定が GPU 高速処理になっていない場合に 8-bit YUV 設定の再生が不正になる問題を修正
- ・ AJA デバイスが Mac OS でシステムオーディオデバイスとして選択されている場合に Premiere Pro の再生環境で AJA デバイスと Adobe デスクトップオーディオを切り替えると不安定な動作を引き起こす問題を修正
- ・ AJA ドライバーのインストーラーから AJAUncompressedCodec.component を消去
- ・ Premiere Pro でトリム機能を使用するとビデオ出力がフリーズする問題を修正
- ・ オーディオハードウェアを使用する方法を変更
- ・ Mac OS 10.11 で Premiere Pro でのキャプチャー中にフリーズやクラッシュ（または両方）を引き起こす問題を修正
- ・ AJA Control Panel が 1080p ハイフレームレート 3G Level B のユーザー設定を保持できない問題を修正。以前は再起動した後に常に Dual Link 1.5G にリセットされていました。
- ・ AJA Transmit プラグインで buffer mode を minimum に設定しオーディオのみのファイルを Premiere Pro のソースモニターで再生するとオーディオが吃る問題を修正
- ・ After Effects から他のアプリケーションに切り替えても AJA ハードウェアを離さないレガシーな AJA After Effects プレビュープラグイン (Blithook) の問題を修正
- ・ Adobe After Effects のサポート方法を変更。以前は 2 つの異なるプラグインをインストールしていました。“Blithook”プラグインは古いレガシーなプラグインのためデフォルトではインストールされなくなりました。必要な場合はインストーラーのオプションから選択してください。Transmit プラグインはデフォルトのインストールオプションとしてインストールされます。詳しくは Adobe のプラグインマニュアルをご確認ください。
- ・ AJA Control Room は QuickTime ファイル生成時に NCLC カラープロファイルを追加
- ・ AJA Control Room と Adobe キャプチャープラグインの DNxHR コーデックをアップデート。DNxHR のキャプチャーパフォーマンスを改善
- ・ AJA System Test が T-Tap の DMA スピードのテストに失敗する問題を修正
- ・ AJA ハードウェアが 25 または 50 fps モードの際に AJA Control Room と Premiere Pro のキャプチャープラグインに DV and DVCProHD コーデックが表示されなくなる問題を修正
- ・ Media Composer が 1080p 50/59.94/60 のプロジェクトを常に 3G SDI Level A モードとして AJA ハードウェアを切り替えてしまう問題を修正。以前はデュアルリンクと 3G SDI Level B は設定するこ

とが不可能でした。ユーザーは AJAコントロールパネルでこの設定を選択することができるようになり、Media Composer を起動する前に設定することで適用されます。

- ・ AJA Control Room で バッチキャプチャーが失敗する問題を修正
- ・ AJA Control Room で DNxHR の規則に合わせるために DNxHD の命名規則を変更
- ・ AJA Control Room で常に バッチキャプチャーで作成したファイルの オーディオが 16トラックになってしまう問題を修正
- ・ lo 4K が 10bit HDMI 入力を 8bit として扱ってしまう問題を修正
- ・ Premiere Pro で DV 圧縮を使用したキャプチャーの問題を修正
- ・ ホストコンピューターのスリープ後に lo 4K から不正なテストパターンが出力される問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ AJA Control Room で複数の DNxHD クリップをキャプチャーすると AJA Control Room がクラッシュする問題を修正
- ・ Mac と Windows のインストーラーはデフォルトでレガシーな AJA After Effects プレビュープラグインをインストールしないように変更。プラグインはインストーラーの中にはまだ含まれており、インストールするにはカスタムインストールでユーザーが選択する必要があります。この古いプラグインは伝送の性能が高速ではないので限定された状況での使用を推奨します。
- ・ KONA 3G が SDI 入力 2 からの RP-188 タイムコードを正確に読み込めない問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ AJA Control Room の バッチキャプチャーでキャプチャーを開始した後にアウトポイントの値が変更されて表示される問題を修正。以前は設定したアウトポイントは正確に実行されていましたが、アウトポイントの値が見た目上だけ不正確でした。
- ・ Avid Media Composer の タイムラインの再生で開始のフレームがスキップされる可能性がある問題を修正
- ・ Avid Media Composer の スクラブ後の再生で最初のフレームが不正確なフレームであるかもしれない問題を修正
- ・ Avid Media Composer の ループ再生が原因で exception error を引き起こす問題を修正
- ・ Premiere Pro のビデオとオーディオのミリ秒のオフセットによりタイムラインの再生の開始時に数フレームのビデオをスキップする可能性がある問題を修正
- ・ AJA Control Room の VTR アウトポイントの表示が バッチキャプチャーの開始後に変更される見た目の問題を修正（キャプチャーされたファイルのアウトポイントは正常）

- ・ KONA LHe+ の AJA Control Panel で AES XLR がオーディオ入力ソースとして選択できない問題を修正（要ファームウェアアップデート）
- ・ lo 4K にて AJA Control Panel でのアナログオーディオの設定が正確に反映されない問題を修正
- ・ Adobe Premiere Pro で 720p フォーマットを元ファイルに正確なフレームでキャプチャーできるように修正
- ・ Adobe Premiere Pro のデバイスコントロールプラグインを端数（0.5 単位）のフレームオフセットが行えるように改善。端数のフレームオフセットは断続的な編集やキャプチャー時にフレーム未満でキャプチャーやテープ出力のオフセットを微調整するために使用することができます。
- ・ Adobe Premiere Pro で RP-188 タイムコードを正しくキャプチャーできるように修正
- ・ T-Tap と lo Express で Premiere Pro の 正しいビデオフォーマット設定が保持できない問題を修正
- ・ lo 4K で RGB の HDMI 入力が正しく動作しない問題を修正
- ・ AJA Control Room の インサート編集でオーディオの最初のフレームが挿入されない問題を修正
- ・ Adobe Photoshop で AJA インポートプラグインを使用してキャプチャーをした際に、入力された画像のクロマレベルが低くなる問題を修正
- ・ 2 サンプルインターリーブ形式の VPIDデータが間違っている問題を修正
- ・ lo 4K と KONA 4 の 4K と UltraHD の HDMI 出力におけるバンディングを修正
- ・ lo 4K と KONA 4 で ダウンストリームキーヤーを使用した際に画像が歪む問題を修正
- ・ ビデオフォーマットを切り替えることで画像が誤って垂直方向にロックしてしまう問題を修正
- ・ Premiere Pro の再生設定におけるオーディオとビデオのオフセット設定を修正

このリリースでサポートされる製品

- | | |
|-----------------|--------------|
| ・ KONA IP | ・ lo 4K |
| ・ KONA 4 | ・ lo XT |
| ・ KONA 3G | ・ lo Express |
| ・ KONA LHi | ・ T-TAP |
| ・ KONA LHe Plus | |

既知の問題

全般

- ・ KONA や Io のデバイスを使用時、システムのスリープはすべきではありません。オペレーティングシステム設定で、スリープおよび省電力モードを無効にする必要があります。
- ・ KONA LHi はオーディオシステムを 1 つしか持っていないため、キャプチャーや出力で同時に使用できるオーディオは 1 系統のみに制限されます。同時に複数チャンネルの入力と出力に対応したアプリケーションでは、SDI 入力はオーディオも入りますが、HDMI 入力にはオーディオは入りません。加えて、入力と出力それぞれが一度に独立した状態で使用される場合（入力からのパススルー出力ではなく）、1 チャンネルのみオーディオが入ります。
- ・ AJA Control Room と Adobe Premiere CC の MXF OP-1A キャプチャーでは、720p60 , 1080i30 , 1080p30 , 1080p60 のフォーマットには対応していません。

Wirecast

- ・ Io 4K や KONA 4 のようなマルチチャンネルのデバイスで構成するときに、ライブのプログラム出力機能を使用する場合には、始めに入力の設定を構成する必要があります。この場合、マスタークロック（NTSC もしくは PAL）をデバイスに設定することになります。そうでない場合、デバイスはデフォルトの 1080i 29.97 に設定され、PAL と NTSC のクロックの混合を引き起こす可能性があります。必ず Wirecast を起動する前に AJA Multi Channel Config で入力と出力の全てを設定してください。

Adobe Plug-Ins

- ・ シーケンスとハードウェアのフレームレート設定が異なると、適切なオーディオ出力が得られない場合があります。
 - 720p50/59.94/60 以外の 720p フォーマットで発生する可能性があります。
 - この制限を回避するには、Premiere Pro の再生設定で、AJA ビデオデバイスを「Match Control Panel」に設定します。その後、AJA コントロールパネルを使い、出力に対して 1080 フォーマットへのクロスコンバージョンを設定します。例えば、720p23.98 プロジェクトを使用する場合は、SDI 出力を選択して 1080PsF23.98 フォーマットを選択し設定します。
- ・ クラッシュキャプチャーにおいて、RS-422 タイムコードをキャプチャーすることはできません。RS-422 タイムコードに変えてエンベデッドタイムコードを使用することを推奨します。
- ・ VFR にプルダウンが追加された場合、タイムコードは調整されません。
- ・ HD-SDI 経由のクラッシュキャプチャーおよびプリントにおいて、Varicam フレームレートでの動作は可能ですが、インサート編集やイン・アウト点を指定してのキャプチャーやバッチキャプチャーは行えません。

- ・ パナソニック社製のデッキにインサート編集を掛ける際、正しく編集を行えない場合があります。この問題を回避するためには、メニュー項目 202 “ID SEL” が “OTHER” に設定されていることを確認してください。
- ・ デッキ制御において 4 秒以下のプリロールは推奨しません。
- ・ Premiere Pro のモニタ設定のデフォルトは “最初のフィールド” となっています。インターレースを正しく表示するには “両方のフィールド” を選択してください。
- ・ Premiere Pro のキャプチャーウィンドウを開いた状態で、デッキのテープが DF から NDF に変更された場合、DF/NDF ステータスを正しく検知できない場合があります。この時、Premiere Pro のキャプチャーウィンドウに表示されるタイムコードは正しくない可能性があります。
 - 同じキャプチャーセッション中に DF と NDF のテープ混在がなければ、この問題はユーザーに影響しません。
 - ▶ 対処方法：テープチェンジ時に表示されるダイアログにてテープ名を与え、OK をクリックする前に新しいテープをスプールしてください。
 - ▶ 回避方法：キャプチャーウィンドウを一度閉じて、再度開きます。
- ・ Panasonic D5 デッキを使用してキャプチャー/テープへ書き出しを行う際は、AJA Premiere Pro Device Control プラグインのタイムコードソース設定を LTC+VITC にしなければなりません。

Avid Open I/O Plug-ins

- ・ AJA デバイスを “オーディオパンチンツール” で使用するためには、 “キャプチャーツール” で AJA デバイスを選択している必要があります。
 1. キャプチャーツールを開く
 2. AJA KONA あるいは AJA Io などのビデオ入力を選択
 3. キャプチャーツールを閉じる
 4. オーディオパンチンツールを開く
 5. AJA KONA あるいは AJA Io などの入力デバイスを選択
- ・ Open I/O Plug-ins がインストールされているタイムラインの不特定なループは、Avid アプリケーションの再生停止や、エラーメッセージの原因となる可能性があります。
- ・ KONA 3, KONA 3G, Io XT でデュアルリンク RGB ソースをキャプチャーする場合、E/E されるデュアル SDI 出力は正しくない可能性があります。
- ・ AJA ハードウェアはコントロールパネルを使用してゲンロックを ‘Input’ と ‘Reference’ で切り換えることができますが、Media Composer でキャプチャーを行う場合、この選択によってバッチキャプチャーが正しく行えない場合があります。この問題を回避するにはゲンロックを “Input” に設定します。
- ・ アナログビデオ入力は Media Composer のキャプチャーツールに正しく検出されない場合があります。この問題は Media Composer の起動時にソースビデオを再生しておくことで回避できます。